

令和6年度授業改善セミナー道東ブロック 学習指導案

日 時	令和6年12月3日（火）第4校時		使用教室	視聴覚教室
教 科	公共	教科担任	杉山 拓哉	
教 材（教科書）	高等学校 公共 （第一学習社）	対象学級	1年A組 8名	
単 元	第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち 「すべての人が輝く社会」			
単元の目標	地域の創造、よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し、共に生きる社会を築くという観点から課題を見だし、その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠を基に自分の考えを説明、論述することができる。			
本時の目標	（ 1時間目 / 4時間） ①「すべての人が輝く社会」とはどのような社会かについて個人で思考した後、ペアで課題を設定する。 ②思考の過程では、個人の意見を論理的に他者に伝え、他者の意見も取り入れながら問いに対する答えに思考を深める。 ③すべての人が輝ける社会の実現には何が必要であるかについて主体的に考え、日々の暮らしに生かそうとする。			
本時評価の観点	①「すべての人が輝く社会」とはどのような社会かについて個人で思考し、ペアで課題を設定している。 ②思考の過程では、個人の意見を論理的に他者に伝え、他者の意見も取り入れながら問いに対する答えに思考を深めている。 ③すべての人が輝ける社会の実現には何が必要であるか、について主体的に考え、日々の暮らしに生かそうとする態度が見られる。			
生徒観・指導観	中学校「公民」の内容が定着できていない生徒が多いため、その知識を補いながら思考を促す授業を意識し4月より授業を展開してきた。他方、定着できてないからこそ、教師の話に真摯に耳を傾け、自らに取り入れようとする姿勢も見られる。 また、本校は介護福祉士の養成校であるため、この「公共」は国家試験の受験の要件にもなる。社会人として必要な資質を養う一方で、福祉の見方や考え方も他方も求められるため、両方の視点から立った思考や判断、表現を生徒には求めたいと考えている。			

<指導と評価の計画>

(1) 授業の流れ (「すべての人が輝く社会」全4時間)

①課題の設定 (1時間) 【本時】

学習指導要領では、
 「C 持続可能な社会づくりの主体となる私たち」において、
 「生徒や学校、地域の実態などに応じて、適切な学習活動を展開することが望まれる」
 との記載がある。

②設定された課題に基づく調査・解答の検討 (2時間)

③調査結果発表 (1時間)

(2) 指導と評価の展開

時間	ねらい・学習活動等 (学習活動の概要、主発問、指導上の留意点)	評価の観点		
		知	思	態
1時間目 (本時)	<p>【単元を貫く問い】 持続可能な社会の実現に向け、私たちに求められる行動とはどんな行動だろうか？</p> <p>【問い】 「すべての人が輝く社会」とはどんな社会か？ また、私たちにはその社会の実現に向けて何ができるか？</p> <p>○自らが考える「すべての人が輝く社会」を考えながら、ペアで課題設定を行う。 ○「すべての人が輝く社会」を阻む要因にはどんなものが挙げられるかについて考える。</p>		○	
2・3時間目	<p>○課題設定を行ったペアで、その課題について調査し、調査が終わり次第、随時解答の検討を行う。 ○解答の検討の際には、「私たちができること」の視点を外さないよう意識し、解答を導かせる。</p>		○	○
4時間目	<p>○調査結果について、発表を行う。 ○発表の際には、単元を貫く問いの答えも意識しながら発表を行う。</p>	○	○	○

(3) 本時の評価基準 (思考・判断・表現)

A	B	C
自身が考える「すべての人が輝く社会」を思考・表現し、他者と協力して適切な課題設定を行い、設定理由についても論理立てて表現している。	自身が考える「すべての人が輝く社会」を思考・表現し、他者と協力して課題設定を行い、設定理由について表現している。	自身が考える「すべての人が輝く社会」を思考・表現せず、また、他者と協力して課題設定を行わず、設定理由について表現できていない。

<本時の展開>

時間	授業の流れ	教師の活動内容	生徒の活動内容	留意事項
<単元全体にかかる問い（単元全体を貫く問い）> 持続可能な社会の実現に向け、私たちに求められる行動とはどんな行動だろうか？				
2分	（挨拶・出欠確認）			
<本時全体の問い> すべての人が輝く社会とはどんな社会か？ また、私たちにはその社会の実現に向けて何ができるか？				
13分	（導入） [Figjam 左側] 「すべての人が輝く社会とはどんな社会か？」	①全体への問いかけ ②個人で思考・表現を促す（5分） ③各個人が表現した内容を思考ツール「Figjam」に打ち込ませる ④各自が打ち込んだ内容を全体に共有する	①教師の問いかけに対し、まずは個人で思考する ②思考したことを「Figjam」に打ち込み、表現する ③他の生徒の思考も見ながら、多くの課題があることを理解する	・生徒の疑問に対して丁寧な説明を心がける ・なるべく生徒の自由な意見を尊重する ・参考資料（新聞記事）の提示
30分	（展開） 思考・表現 （約15分） （展開②） 思考・表現 （約15分）	<問い①> [Figjam 右側] 各自で考えた「すべての人が輝く社会」を阻む要因にはどのようなことが考えられるか？		
		<問い①に対するアプローチ> ①全体への問いかけ ②個人で思考・表現を促す ※箇条書きでもよいので、できるだけ多くの考えを出すよう促す ③各個人が表現した内容を思考ツール「Figjam」に打ち込ませる	<問い①に対するアプローチ> ①教師の問いかけに対し、まずは個人で思考する ②思考したことを「Figjam」に打ち込み、表現する ③他の生徒の思考も見ながら、多くの要素があることを理解する	・意見が出ない場合には教員が間に入り、思考や表現をしやすいように促す
		<問い②> 「すべての人が輝く社会」を実現させるために、第一に取り組むべき課題はどんなことか？		
		<問い②に対するアプローチ> ①ペアを作らせる ②「Figjam」の左右を見比べながら、問いの解答について議論・検討させ、1つの課題を選択させる。 （その課題を次時からの調査・発表の課題とする） ③ワークシートに設定した課題と、その課題を設定した理由（経緯）を記入させる。 ④全体の場で、各ペアが設定した課題とその理由について発表させる	<問い②に対するアプローチ> ①ペアを作る ②「Figjam」の左右を見比べながら、問いの解答について議論・検討させ、1つの課題を選択する。 ③ワークシートに設定した課題と、その課題を設定した理由（経緯）を記入する。 ④全体の場で、各自で設定した課題とその理由について発表し、その他のペアの発表を聞く。	・ペアで意見が出ない場合には教員が間に入り、思考や表現をしやすいように促す
5分	（まとめ） 振り返りと 次回内容について	次回から取り組む各ペアの課題について確認し、どのような視点で調査をすべきか確認する。	本時の内容について、振り返りを行いながら、次回の内容を把握する。	